

C言語講座 第二回

算術演算子 配列 ifとswitch

算術演算子

$$+= \quad a += b \Rightarrow a = a + b$$

$$-= \quad a -= b \Rightarrow a = a - b$$

$$*= \quad a *= b \Rightarrow a = a * b$$

$$/= \quad a /= b \Rightarrow a = a / b$$

$$\%= \quad a \% = b \Rightarrow a = a \% b$$

例題

先ほどの算術演算子を用いて、変数aに変数aとbを足し合わせたものを代入し、表示するプログラムを作成してください。なお、変数の値は適当に各自がわかりやすい数字で大丈夫です。



論理演算子

! (否定 NOT)

&& (論理積 AND)

|| (論理和 OR)

x	y	!x	x&& y	x y
1	1	0	1	1
1	0	0	0	1
0	1	1	0	1
0	0	1	0	0

配列__1

- 配列とは、指定した数の箱を作り、その箱に文字や数値を格納し、まとめて管理するもの。
- 各箱には識別番号がついており、箱ごとに様々な処理を行える。

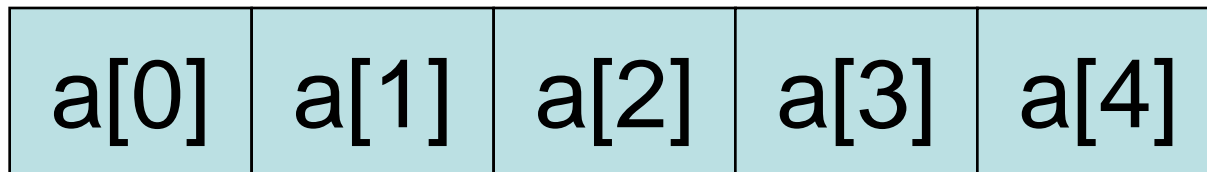
配列__2

配列の宣言の仕方

データ型 配列名[要素の数]

例) int a[5];

上の例だとint型の配列が5個用意される。



番号は0から振られるのでこの場合最後の配列の番号は4になる